



# ガバナーご挨拶

2014年6月5日

国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン  
ガバナー 遠藤 妙子

涼やかに初夏を彩る紫陽花の季節に、一通の可愛い封筒を郵便受けに見つけました。

「風薫る季節になりました。・・・」の書き出しで始まるお手紙からは、現在の高校生活が生き生きと伝わって参りました。

中間テストが終わり、期末テストや合唱コンクール、文化祭の行事に向け、日々努力している様子。また、修学旅行は京都、奈良に行くので、そこでのいろいろな体験を宮城県に持ち帰って、復興につなげたいとの抱負。

家庭生活においては、自分のことは自分でやるという目標を持ち、洗濯やお風呂洗いなど、一人で頑張り、少しでも親を楽にさせてあげたいと思っていることなど、事細やかにびっしりと綴られておりました。

自分の進むべき道をしっかりと見つめ、明るい未来に向かって、可能性への道を懸命に模索し、夢を生きようとクラスの友人たちと頑張っている姿に、うれしさと深い感動を覚えました。

153名のすべての絆支援生への奨学金の支援が、4月から始まりました。支援生の皆さんは、大震災時の不安定な精神状態が少しずつ癒えて、学校生活、日常生活で元気を取り戻そうと、一生懸命努力を続けておられます。

計り知れないほどの心の傷を新たな志に変え、閉ざされた心の扉をひらいて、一步一步前進している絆支援生の皆さんに、私たちは心からのエールを送り続けたいと思います。

2014年6月5日

「ソロプチミスト絆プロジェクト～Heart to Heart～」2014年度近況報告書 No.5

## あすへの希望…わたしたちは応援します

国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン  
ガバナー 遠藤 妙子



木々が緑をたたえ、草花が路傍を彩る美しい季節となりました。日頃より「ソロプチミスト絆プロジェクト～Heart to Heart～」に対し、多大なご理解とご協力に心よりお礼申し上げます。

東日本大震災発生から3年目を迎え、時折届く絆支援生からの“一生懸命頑張っています”“楽しく学校生活を過ごしています”との便りに、このプロジェクトが震災で閉ざされた子供たちの心と未来の扉を開ける一助となっていることを実感いたします。

震災発生後、国際ソロプチミスト日本5リジョンガバナーの皆様は、その貴い義援金の使途として、震災により両親や片親を亡くされた遺児・孤児への教育支援として、高等学校就学資金の一部を給付する奨学金制度「ソロプチミスト絆プロジェクト～Heart to Heart～」を立案され、2012年4月と2013年4月から138名の支援生の方々に支援金をお送りすることが実現いたしました。現在は、昨秋追加募集の15名の支援生決定でプロジェクトの支援生募集を終了し、2014年4月からは、計153名に奨学金支援の手続きを進めておりますことをご報告いたします。

2013年1月近況報告書 No.3 では「私は父を失った悲しみに「明日死んでもいい」と本気で思っていました。」などと不安定な精神状態が支援生の方々より発せられておりましたが、その後も個々に交流したり、クリスマスカードで励ましのメッセージをお贈りするなど見守り続けてきました。

2014年6月近況報告書 No.5 では、「親を失っても私を支えてくれる方々が多くいるのだと、常に胸にとどめてこれからも頑張っていきます。」と自分の歩むべき道をしっかり見つけ、毅然と前を向いて歩き始めている支援生の姿に、私たちは心からのエールを送り続けてまいります。支援生全員の支援が終了するのは、2017年3月31日となります。

近況報告書に寄せられた生徒さんたちの立志の声を、会員の皆様にご紹介したく報告書にまとめましたので、ご高覧いただけますと幸いです。



- ★ 今までには特に将来やりたいことなどがなかったのですが、春休みにフランス、夏休みにはアメリカにホームステイしたことをきっかけに国際交流に興味を持ち、将来は大学で国際学を学びたいという目標ができました。 (M, K)
- ★ 2年生の時は、部活・勉強・資格取得に励み、日々充実した生活を送れたと思います。3年生になり、勉強・部活以外に進路関係が加わりこれから忙しくなっていくと思います。しかし、それを乗り越え、来年の今頃は大学生となり新たな生活をスタートできるように頑張ります。 (M, K)
- ★ 私は食物文化科に入学し、食の知識や技術を高めるために調理実習や校外研修など専門の先生方から様々なことを学んできました。たくさんの検定試験がありますが、合格という目標を持って真剣に取り組んでいきたいです。 (N, S)
- ★ テニス部に所属し、毎日遅くまで頑張っています。バスで帰宅すると8時半になります。先日の模擬試験では学年で3番でした。2年生からは理系に進み、将来は教師か薬剤師を目指したいと思っています。 (K, S)
- ★ 私は食物科に入学し週1回調理実習を行っています。2年生になると今までの2倍の週2回の実習になるので、技術向上のため、家で夕飯の手伝いや学校に持っていくお弁当を作っていきたいと思います。 (S, M)
- ★ 私にとってこの一年間は本当に「感謝」の年だったと思います。これからもたくさんの人への感謝の気持ちを忘れず、そしていつしか恩返しができるようこれからも努力していきたいと思います。震災から3年が経ち、被災地も大分落ち着きを取り戻してきました。しかし、元通りになるまではまだまだ時間がかかります。ボランティア活動などに進んで参加し、少しでも宮城県の復興に役立つ活動ができればと思います。 (Y, T)
- ★ 2月から10ヶ月間留学することになり、現在ニュージーランドに来て2ヶ月が過ぎました。初めの3ヶ月は語学学校に通い、その後7ヶ月は現地校に通うシステムになっています。あと1ヶ月程で現地校へ行きます。そのために毎日拙い英語で必死に会話の練習をしています。これからも英語力の向上のために、ニュージーランドでの生活を頑張っていきたいと思います。 (M, I)
- ★ 勉強はとても難しく、自分の中で良い点を取っても順位がなかなか上がりませんでした。学校行事は中学の時とは違う楽しさがあり、クラスのみんなど団結することができました。文化祭は実行委員をしたこともあり特に思い出深いです。2年生となったので、明確な目標をしっかりと立てて、昨年以上に充実した学校生活を送りたいです。 (M, I)
- ★ 2年生へ進級し、私は福祉類型を選択しました。例年と比べて女子の割合が少ない少人数クラスですが、楽しく過ごせています。部活では後輩が16人も入部しました。2年生2人に対し1年生16人は指導が大変ですが、楽しくしっかりと頑張ります。 (S, H)
- ★ 気仙沼支援学校に入学しました。コミュニケーションが乏しいので、放課後デイ利用をし(毎日)色々な方々とのコミュニケーションができるよう頑張っています。勉強面ではやはり障害もあり、繰り返し繰り返しの連続ですが、一般就労が大きな夢ですので、実習で色々な慣れて今後の将来のことを考えていきたいと思っています。 (M, K)



- ★ 私には介護福祉士になるという夢があり、進学しようと決めています。今年度から進学クラスに進み、他人と競い合いながら一生懸命頑張っていこうと思っています。こうして私に支援をしてくださる皆様、支えてくれる家族、友人、親を失っても私を支えてくれる方々が多くいるのだと、常に胸にとどめてこれからも頑張っていきます。(M, K)
- ★ 特に苦手な数学に力を入れて頑張り、3期、4期テストでは自分で納得のいく点をとることができました。2月に引っ越しをし、仮設扱いで住んでいた家を離れることができ、すっきりしています。一番の変化は自分の好きなことができるようになったことです。ピアノと声楽を習い始めました。これからも自分の夢を叶えるために頑張ります。(Y, O)
- ★ 私は相馬農業高校の生産環境科で青果物や花を作ったり、家畜(牛)の世話をしたり、農業のことを色々学びます。毎週1回、農場登校日があり、実習の日が一番楽しく学んでいます。農業のことを色々学び、地域の人々とふれあい、これからももっと農業について学びたいと思います。(C, A)
- ★ 現在、生徒会の一員としても活動しています。今年は文化祭がありませんが、初めての球技大会や修学旅行、合唱コンクールなど様々な行事があるので、生徒会と部活動、勉強を両立して生活していきたいです。(H, A)
- ★ 部活動に入り、今は体操部のマネージャーとして頑張っています。部活も夜遅く8時くらいまでになったりしますが、みんなで一緒に楽しくやっているので、8時という時間もあっという間にきてしまいます。目標を持って残りの高校生活を送りたいです。(Y, W)
- ★ 1年生の時はクラスの委員長に立候補し、一年間やり遂げることができました。部活動では吹奏楽部に所属し、各大会でレギュラーメンバーに選ばれ、福島県大会に出場できました。また、副部長に任命され大会に向けて練習しています。(M, H)
- ★ 勉強では、考査のたび目標を掲げ悔いの無いよう勉強しました。その結果、学年でも上位に名を載せることが出来ました。このまま気を抜かず努力したいです。部活動では、水泳部に入り、クラブチームの練習も熱心に取り組むことが出来ました。高体連の県大会で入賞し、東北大会にも出場しました。将来の夢を叶えるため、今のうちからたくさん体力をつけておきたいと思います。(A, H)

深くはかり知れない心の傷を新たな志に変え、毅然と前を向いて歩き始めている支援生に、私たちは心からのエールを送り、見守り続けていきます。

【発行者】 国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン ガバナー 遠藤妙子  
【事務局】 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目8-1 北7条ヨシヤビル 3F  
日本北リジョン事務局  
TEL(011)756-8161 FAX(011)756-8162  
E-Mail : sia-jkita@world.odn.ne.jp ホームページ : <http://www.sia-kita.jp/>